

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成 21 年 2 月 26 日 (2009.2.26)

【公開番号】特開 2007-210224 (P2007-210224A)

【公開日】平成 19 年 8 月 23 日 (2007.8.23)

【年通号数】公開・登録公報 2007-032

【出願番号】特願 2006-33408 (P2006-33408)

【国際特許分類】

B 2 7 N 3/04 (2006.01)

D 0 4 H 1/54 (2006.01)

D 0 4 H 1/42 (2006.01)

【F I】

B 2 7 N 3/04 Z B P B

D 0 4 H 1/54 H

D 0 4 H 1/42 F

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 1 月 13 日 (2009.1.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

平均繊維長が 5 ～ 1 0 0 m m の範囲内の天然繊維に、バインダとしてポリ乳酸系樹脂が混在し、かつ見かけ密度が 0 . 1 ～ 0 . 5 g / c m <sup>3</sup> の範囲内である繊維系ボード。

【請求項 2】

J I S A 5 9 0 5 ( 2 0 0 3 ) に基づいて測定された曲げ強さが 5 0 ～ 2 5 0 0 N / c m <sup>2</sup> の範囲内である請求項 1 に記載の繊維系ボード。

【請求項 3】

J I S A 1 4 2 0 ( 1 9 9 9 ) に基づいて測定される熱貫流抵抗が 0 . 0 5 0 m <sup>2</sup> ・ K / W 以上である請求項 1 または 2 に記載の繊維系ボード。

【請求項 4】

前記熱貫流抵抗が 0 . 1 0 0 m <sup>2</sup> ・ K / W 以上である請求項 1 ～ 3 のいずれかに記載の繊維系ボード。

【請求項 5】

内部に内径が 0 . 0 1 ～ 0 . 5 m m の範囲の孔を有する多孔質構造である請求項 1 ～ 4 のいずれかに記載の繊維系ボード。

【請求項 6】

請求項 1 ～ 5 のいずれかに記載の繊維系ボードを用いた断熱材。

【請求項 7】

請求項 6 に記載の断熱材を建材用に用いた断熱材。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 8】

( 2 ) J I S A 5 9 0 5 ( 2 0 0 3 ) に基づいて測定された曲げ強さが  $50 \sim 2500$   $N/cm^2$  の範囲内である前記 ( 1 ) に記載の繊維系ボード。

( 3 ) J I S A 1 4 2 0 ( 1 9 9 9 ) に基づいて測定される熱貫流抵抗が  $0.050 m^2 \cdot K/W$  以上である ( 1 ) または ( 2 ) に記載の繊維系ボード。

( 4 ) 前記熱貫流抵抗が  $0.100 m^2 \cdot K/W$  以上である ( 1 ) ~ ( 3 ) のいずれかに記載の繊維系ボード。

( 5 ) 内部に内径が  $0.01 \sim 0.5 mm$  の範囲の孔を有する多孔質構造である ( 1 ) ~ ( 4 ) のいずれかに記載の繊維系ボード。

( 6 ) ( 1 ) ~ ( 5 ) のいずれかに記載の繊維系ボードを用いた断熱材。

( 7 ) ( 6 ) に記載の断熱材を建材用に用いた断熱材。